

# オニコウベカップ2017大会規定

## ゼッケン

- ・ ヘルメット前面または側面に粘着テープを貼り、マジックでゼッケン番号をなるべく大きく書くこと。

## テイクオフ

- ・ **原則として第1テイクオフを使用する。**  
但し、天候その他により、第2テイクオフ、花立テイクオフを使用する場合もある。
- ・ テイクオフはフリーテイクオフとし、テイクオフゾーンに並んだ順番とする。
- ・ テイクオフを取り止め、失敗等の場合でもすぐに再セット可能な場合（TDの判断）はやり直しができる。
- ・ 2回失敗した場合、1分以内にT.Oできなかった場合はT.Oゾーンを速やかに空け最後尾に回ること。
- ・ 他の選手のセットアップに積極的に協力すること。
- ・ 第1テイクオフはコースが曲がっている上に風が弱いので、キャノピーがしっかり立ち上がったことを確認してから走ってください。飛び乗りはツリーランにつながります。

## ランディング

- ・ 指定ランディング等の指定地以外に降りた時はそのフライト失格とする。但し、同時進入を避けるためランディングディレクターの指示によりハング・ランディングに降りた時はこの限りでない。（同時進入にならないように早めに他機との高度調節をすること）
- ・ 他のフライヤーのランディングを故意に邪魔したものはそのフライトを失格とする。
- ・ 危険なランディングとディレクターが判断したときはそのフライトを失格とする。
- ・ **ランディング禁止場所（ゴルフ場、放牧地他）に降りた場合は大会失格とする。**最悪の場合、車両に気をつけて路上LD。

## 警告

- ・ 大会期間中の危険行為、大会の妨害に対しては大会失格とする場合がある。

## 大会の成立

- ・ **参加人数と同数のフライト本数、またはゲートオープンしていた時間が参加人数×3分を越えた時をもって大会成立とする。**
- ・ 原則として次の場合、競技を中断または中止とする。
  - \* 風速が毎秒6mを越える場合
  - \* 風向きがテイクオフにおいてフォローの場合
  - \* その他競技委員長が危険と判断した場合

## リフライト

- ・ リフライトは何回でも可。 但し、フライト本数の少ない者が優先する。

## 抗議、異議

- ・ 集計ミス以外は受け付けない。

## その他

- ・ **ゴンドラ、リフト、高圧線等を越える時は高度に十分注意すること。**
- ・ 競技中無線は常に傍受していること。

**みんなで協力、楽しく、安全に**

# 競技規定

タスク：指定パイロンレースとする（状況により変更もあり得る）。

## ○パイロン

設定されたパイロン(11ヶ所)のうち、大会事務局が指定した周回をする。

- ・ 全てGPSによる判定とし、パイロンを中心としてシリンダー半径 200m 以内とします。  
(禿山頂はシリンダー半径 400m とする)
- ・ 各自が自身で申告したGPSログでもって判断する。
- ・ <パイロン>

1. 大柴物見台	2. ゴンドラ山頂駅	3. コルブラン (赤屋根)
4. 小柴リフト降り場	5. 花立峠駐車場	6. 三角小屋 (赤屋根)
7. T字路 (放牧場)	8. 変電所 (茶屋根)	9. ゴル場入口民家
10. ネージュ (ゴンドラ乗場)	11. カムロ山頂	

\*コンディションにより除外するパイロンがある。

## ○ランディング

- ・ 指定地 (ゴールライン) を通過した時をゴールとするが、+必ず指定ランディングに降りる事。
- ・ 指定ランディング以外に降りた場合は、失格となります。  
(同時進入等为了避免る為、ランディングディレクターの支持よる場合を除く)

## ○申告 (GPS等の提出がない場合も必ず帰着申告をすること)

- ・ 選手自身が最終フライト1本を、申告用紙とGPSと一緒に提出する。
- ・ 申請したGPSログがアウトとなっても再申告はできない。

## ○得点計算

- ・ 申告用紙に基づいて判定する。
- ・ その日の総得点1位を1,000点とし、その係数をかけてその日の点数とする。
- ・ 2日間の点数の合計によって順位を決定する。

## ○その他

競技規定に記載されていない事については競技委員長の判断による。  
天候によっては、別競技を行う場合もある。  
フリーフライトはレポート提出後しか認めない。